

「神奈川県立近代美術館 鎌倉別館」 40周年記念連続講演会

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館の開館40周年を記念して、
当館やそのコレクションに所縁のある、あるいは地域に詳しい方を講師に迎えてお話しいたします。

第
1
回 2024
11.04 月

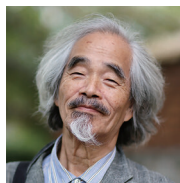


戦後神奈川の文化行政と美術館を巡って

講師: 藤嶋 俊會 (美術評論家、元神奈川県民ホール・ギャラリー学芸員)

戦後の神奈川の文化行政は美術(館)にどのように関わってきたのか、近代美術館や各種文化施設の建設を通してその取り組みを紹介します。特に戦後最初の民選知事内山岩太郎から、次の津田文吾、そして長洲一^{ながすかずし}の三者による文化行政に対する考え方や施策を振り返ります。それから近代美術館(鎌倉別館)の思い出を語ります。

第
2
回 2024
11.23 土



自作を語る

講師: 木下 晋 (美術家、金沢美術工芸大学名誉客員教授、「たいせつなもの」展出品作家)

1963年に16歳で自由美術家協会展に入選したクレヨン画《起つ^た》*からライフワークとして描いたハンセン病回復者の詩人・桜井哲夫さんの鉛筆による肖像画**まで、これまで描いてきた自作について語ります。

*「たいせつなもの—新収蔵作品展2015～2019」出品作品

**同展には《光の合掌(桜井哲夫)》(2008年)を出品

第
3
回 2024
12.07 土



「知の泉」としての山口蓬春文庫

講師: 笠 理砂 (山口蓬春記念館副館長・首席学芸員)

山口蓬春(1893-1971)は、大正・昭和にかけて、伝統の継承と時代に即した感覚を採り入れながら新しい日本画の可能性を模索し、近代の日本画の進むべきひとつの方向を示した画家でした。その生涯で蒐集した書籍3,546点は現在「山口蓬春文庫」として、神奈川県立近代美術館 葉山に保管されています。今回は一般にあまり知られていない山口蓬春文庫の概要と、その形成の経緯についてお話しします。

第
4
回 2024
12.21 土



鶴岡八幡宮寺二十五坊跡の現在 — 古都鎌倉の遺跡地と古都保存法 —

講師: 八幡 義信 (NPO法人鎌倉地域振興協会理事長、元神奈川県立歴史博物館学芸部長、元鎌倉女子大学教授)

鎌倉幕府の成立過程で、源頼朝により古都鎌倉の中心部に建設された鶴岡八幡宮(寺)は、明治時代にいたるまで神仏習合の宗教施設として長い歴史を持っています。その中心をなすのが、八幡宮の神職と周囲に建設された二十五坊に住んでいた別当および供僧たちでした。中世から近世における二十五坊は、明治時代以降に純粹の神社体制となり、その役割を終えました。その後、昭和時代に入り二十五坊跡地の利用を巡り鎌倉市民との間に大騒動が起こり、それが京都や奈良の地にも広がり、その中で古都保存法が成立しました。

第
5
回 2025
01.18 土



神奈川県立近代美術館の40年 — 1984年から2000年までを中心に —

講師: 橋 秀文 (目黒区美術館館長、元神奈川県立近代美術館企画課長兼普及課長)

シャガール版画を中心とした望月富明コレクション展(1985年)、今村紫紅の写生帖を出品した所蔵品による日本画・素描と下絵展(1987年)、大型寄贈による佐野繁次郎遺作展(1993年)、水俣市出身の銅版画家秀島由己男の個展(1999年)、そして、版画家として知られた浜田知明の彫刻を紹介した展覧会(2000年)など、担当した展覧会の面白さ、その後の調査結果など、それぞれの展覧会を回顧しながら、鎌倉別館で何が行われてきたのかその存在価値を探ってみたいと思います。

「神奈川県立近代美術館 鎌倉別館」40周年記念連続講演会 開催概要

開催日

- 第1回 2024年11月4日（月・振替休日）
第2回 2024年11月23日（土・祝日）
第3回 2024年12月7日（土）
第4回 2024年12月21日（土）
第5回 2025年1月18日（土）

時 間

14:00—16:00 *開場は13:30

受講料

各回1,000円

*受講料は受講日ごとに、会場受付にて現金でお支払いください。
*全5回のうち、4回以上受講した方には修了証を差し上げます。

定 員

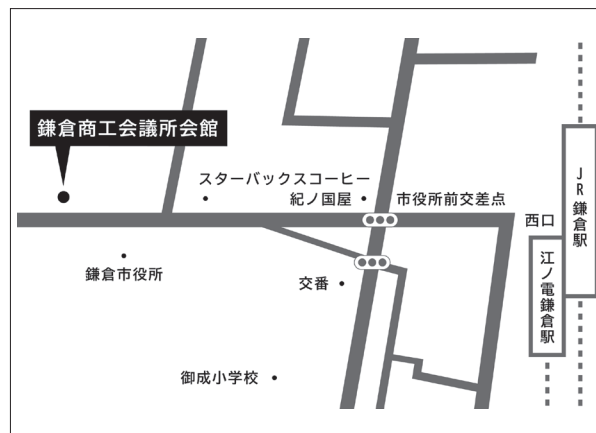
各回80名 *当日先着順

場 所

鎌倉商工会議所会館 ホール（B1）

〒248-0012 神奈川県鎌倉市御成町17-29

*鎌倉駅西口より徒歩5分



最新情報は美術館ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.moma.pref.kanagawa.jp>

展 覧 会 情 報

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1

Tel. 0467-22-5000

◎コレクション展「たいせつなもののI—新収蔵作品展2015～2019」

会期|11月2日(土)－2025年1月19日(日)

開館時間|9:30－17:00（入場は16:30まで）

無料開館日|11月3日(日)文化の日

休館日|月曜日（11月4日、1月13日を除く）、12月29日(日)－1月3日(金)

観覧料|一般250円、20歳未満・学生150円、65歳以上100円、高校生100円、中学生以下無料

◎令和6年度(第53回)文化財保護ポスター展 最優秀賞作品展

会期|11月30日(土)－12月22日(日)

会場|2階展示ロビー

アクセス|◎公共交通:JR横須賀線・江ノ島電鉄「鎌倉」駅下車 鶴岡八幡宮・北鎌倉方面へ徒歩約15分、または鎌倉駅東口2番のりばから江ノ電バス(大船駅・上大岡駅・本郷台駅行き、約5分)で「八幡宮裏」下車徒歩2分/JR「北鎌倉」駅下車、鶴岡八幡宮・鎌倉方面へ徒歩約20分、または江ノ電バス(鎌倉駅東口行、約5分)で「八幡宮裏」下車◎車:横浜横須賀道路「朝比奈IC」から鎌倉霊園を経由して鶴岡八幡宮前へ約5km

*駐車場はございません(障がい者用を除く)。障がい者専用駐車スペースをご利用の方は、事前にご連絡ください
(Tel. 0467-22-5000)。

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

Tel. 046-875-2800

◎企画展「栗林隆 Roots」

会期|12月14日(土)－2025年3月2日(日)

会場|エントランス、講堂、中庭ほか

開館時間|9:30－17:00（入場は16:30まで）

休館日|月曜日（1月13日、2月24日を除く）、12月29日(日)－1月3日(金)

観覧料|一般1,000円、20歳未満・学生850円、65歳以上500円、高校生100円、中学生以下無料

アクセス|◎公共交通:JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)または京浜急行「逗子・葉山」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11」または「逗12」系統(海岸回り・葉山行)で「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車(所要時間約20分)◎車:横浜横須賀道路「逗子IC」または「横須賀IC」から7～8km

*葉山館は2025年3月31日(月)まで、改修工事に伴い展示室内での展覧会を休止します。企画展「栗林隆 Roots」は展示室外で開催します。美術図書室、庭園、レストラン、駐車場、そしてミュージアム・ショップは、来館者の安全確保のために閉鎖・休業する期間があります。

神奈川県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama